

平成 28 年 6 月 3 日

「2016 ステークホルダーエンゲージメントプログラム」のご案内

経済人コー円卓会議日本委員会
専務理事兼事務局長 石田 寛

拝啓 初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より弊会の活動にご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当会（CRT 日本委員会）が事務局を務める「ニッポン CSR コンソーシアム」では 2012 年 9 月より、企業による「国連ビジネスと人権に関する指導原則」の理解と実践の場を目指してステークホルダー・エンゲージメントプログラムを開催し、様々な業種に属する企業や NPO・NGO の方々、学識有識者の参加を得て、企業が関与する人権への負の影響の特定と人権に配慮した企業活動の推進に向けた議論を行って参りました。本年度も引き続き、本プログラムを開催します。

本年度のプログラムは昨年度の成果物である「業界毎に重要な人権課題」の見直しを行います。また本年（2016 年）からスタートした「SDGs 持続可能な開発目標」をテーマとして、企業がその事業活動（バリューチェーン）が及ぼす社会と環境への負への影響と、取り組むことで生み出す正の影響を業界毎に議論していきたいと存じます。

今般、貴社におきましては、本年度の「2016 年 ステークホルダー・エンゲージメントプログラム」の参加を賜りたく、御案内申し上げます。

末筆になりますが、貴社のますますのご発展を祈念致します。

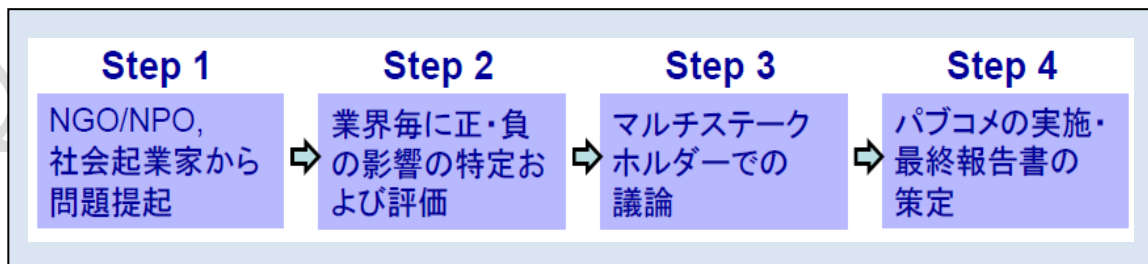
敬具



今までのプログラム内容は以下リンクをご参照下さい。

http://crt-japan.jp/project-overview/stakeholder_engagement/report_doc/

【実施プロセス】



初めに、NGO/NPO、社会起業家より SDGs、伊勢志摩サミット、パリ協定、を踏まえつつ各団体が捉える問題をご提起いただきます。参加者の皆様は、ご提起された問題を参照しながら、業界毎に議論して議論内容を暫定版として纏めていただきます。後日再度 NGO/NPO にご登壇していただき、議論内容に関してフィードバックしていただきます。皆様はフィードバックを基に、再度業界毎で議論して内容を取り纏めていただきます。事務局がその議論内容を纏めて日英両方でパブリックコメントを実施し、本プログラムの最終報告書を策定し公開します。

【日時、会場】（本プログラムは 2 会場で行われます。ご注意ください。）

- ・第 1 回 2016 年 6 月 15 日（水）13:00-18:00 （受付開始：12：45）
AP 東京丸の内（日本生命丸の内ガーデンタワー）地図は[こちら](#)。
- ・第 2 回 2016 年 6 月 22 日（水）14:00-17:00 （受付開始：13：45）
AP 東京丸の内（日本生命丸の内ガーデンタワー）地図は[こちら](#)。
- ・第 3 回 2016 年 7 月 01 日（金）14:00-17:00 （受付開始：13：45）
AP 東京丸の内（日本生命丸の内ガーデンタワー）地図は[こちら](#)。
- ・第 4 回 2016 年 7 月 06 日（水）14:00-17:00 （受付開始：13：30）
関西学院大学 東京丸の内キャンパス 地図は[こちら](#)。
- ・第 5 回 2016 年 7 月 19 日（火）13:00-18:00 （受付開始：12：45）
AP 東京丸の内（日本生命丸の内ガーデンタワー）地図は[こちら](#)。
- ・第 6 回 2016 年 7 月 27 日（水）13:00-17:00 （受付開始：12：30）
関西学院大学 東京丸の内キャンパス 地図は[こちら](#)。

【プログラム参加費】

種別	金額	特典					
		ワークショップ (WS)への参加	参加者リスト への掲載	自社報告書への記事掲載		WS報告書等 へのロゴ掲載	相談・ アドバイス ^{※3}
				簡易版 ^{※1}	完全版 ^{※2}		
参加費A	無料	○	○	○	—	—	—
参加費B	30万円	○	○	○	○	○	○

※1 簡易版 ご参加について掲載いただけます。

※2 完全版 ワークショップでの取り組みの詳細について具体的に掲載いただけます。

※3 相談・アドバイス ご要望に応じて、「社会的課題と自社との関わりとの把握とマッピング作業」の実施方法についてアドバイスいたします。

*掲載事例として、CRT 日本委員会の事例紹介のページをご覧ください。

http://crt-japan.jp/project-overview/stakeholder_engagement/entry/

【プログラム概要】

- ・第1回 6月15日(水)
NGO/NPO、社会起業家からの問題提起
- ・第2回 6月22日(水)
ワークショップ：企業間討議①
※「SDG コンパス」の活用：地球環境戦略研究機関（IGES）の宮澤郁穂様のご登壇
- ・第3回 7月01日(金)
ワークショップ：企業間討議②
※「市民社会とSDGs」に関して「動く→動かす」の稲葉雅紀様のご登壇
- ・第4回 7月06日(水)
ワークショップ：企業間討議③
- ・第5回 7月19日(火)
NGO/有識者からのフィードバック
※ゲストとして、OECD ガイドラインの Co-chair of the Academic friends の Professor Raymond Saner, Ph.D., がスイスよりご出席します。
- ・第6回 7月27日(水)
最終案策定

本ワークショップは、UNEP FI の人権ガイダンスツールを基に、SDG コンパスと及び Corporate Human Rights Benchmark (企業の人権ベンチマーク) を活用し議論を進めます。

Contributor




【参加のメリット】

- 自社のCSR報告書にステークホルダーダイアログ関連記事としての掲載が可能
企業がCSRやサステナビリティの活動をしていく中で、まず取り組むべきはどのCSRガイドラインにもステークホルダーとのダイアログを通じて、どんな課題に着手すべきか企業自身が決めていくことが求められています。すでに、参加企業では、参加及びその後の自社における取り組み等について、自社のCSR報告書において報告されております。
- 外的な評価の獲得
 - イベントライフサイクル全体の流れの中で国連「ビジネスと人権」指導原則に則って何をすべきかマルチステークホルダーと議論し、その結果をグローバルに発信していくことで、世界が注目するアジェンダを理解しており、対応していることを示すことができます。
 - グローバルな文脈を理解し、「正当性」を担保した形で「誠実」に「ビジネスと人権」やCSR/サステナビリティに関する活動を展開していることを世界に向けて発信できます。すでに機関投資家向けの格付け機関からの評価を得られております。

【エンドースメント】

取り組んだ活動がどのステップに対応するか、どのステップに取り組んでいるかの確認（ステイトメントチェック）を行います。なお、本エンドースメントは、ニッポンCSRコンソーシアムにおいて実施するステークホルダーエンゲージメントプログラム（ステップAおよびステップB）に限らず、ステップA～Lまでのすべてのステップを対象として実施するものです。ステップA～Lまでの別紙ご参照下さい。 <掲載イメージ>


報告



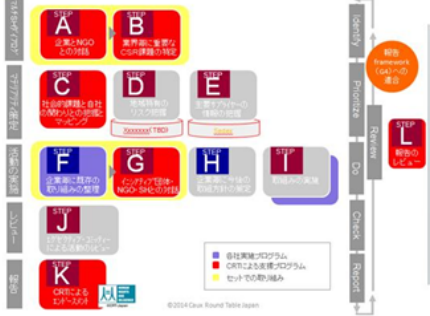
STEP K
CRTIによる
エンドースメント

Report

- 各社がSTEP AからSTEP Jまで取り組んできた内容について、どのSTEPを実施してきたのかその手続き（プロセス）をエンドースメントする。
- 当会がエンドースメントを行うことの意義は、各社が全体像（手続き）をしっかりと認識し、把握した中で、実際どこまで実施できたのか、第三者の立場で客観性を保ちながら担保する（各社のCSR部門の協力は、自らがCSR全体を把握しているにも関わらず、社内で他部門を巻き込む形までいかに戸惑っていたり、慣れを感じているのが実態ではないだろうか）。
- ただし、当会あくまでも各社が取り組んできたSTEPのステータスチェックを行うことであり、保証業務を行うものではない。



各STEPの取り組みについては、CRT日本委員会HPIに記載しています。



全体像から現時点对応したレベルを一目瞭然と把握することができる（グレイアウトは未対応）。

第1回プログラムの日程表（6月3日付け）

6月15日（水）13:00~18:00（受付開始：12:45より）
AP 東京丸の内（日本生命丸の内ガーデンタワー3階）

13:00	開会挨拶、本プログラムの概要について 経済人コー円卓会議日本委員会 ニッポン CSR コンソーシアム 事務局 松崎 稔
13:10	基調講演 「私たちが望む未来に向けて・MDGs から SDGs へ」 国連開発計画（UNDP）駐日代表事務所 次席代表 鍋島 徳子様
13:40	「持続可能な開発目標（SDGs）実現に向けての民間資金のポテンシャル」 国連環境計画・金融イニシアティブ 日本コーディネーター 野村 香織様
13:55	①「SDGs と市民社会：参加とパートナーシップ」 一般社団法人 環境パートナーシップ会議（EPC） 副代表理事 星野 智子様
14:10	②SDGs13：気候変動へのアプローチ【森づくりは人づくり】 認定 NPO 法人 ヒマラヤ保全協会 事務局長 戸田 裕子様
14:25	③「労働 CSR とサプライチェーン」 日本 ILO 協議会 編集企画委員 熊谷 謙一様
14:40	④「気候変動の開発・人権への影響とパリ協定」 国際環境 NGO FoE Japan 小野寺 ゆうり様
14:55	⑤「SDGs と女性」 公益財団法人 ジョイセフ 市民社会連携グループ プログラム・オフィサー 柚山 訓様
15:10	集合写真撮影、および休憩（20分）
15:30	法務省 人権擁護局長 岡村 和美様
15:50	⑥「栄養とビジネス」（仮題） 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシー・マネージャー 堀江 由美子様
16:05	⑦「企業活動のコミュニティへの影響」 ミャンマー・ダウエイ経済特区の事例を中心に」 特定非営利活動法人 メコン・ウォッチ 事務局長 木口 由香様
16:20	⑧「鉱物のグローバルサプライチェーンと人権」 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 渉外担当 土井 陽子様
16:35	⑨技能実習生の権利保護と、IT を使った技術移転による共有価値創出 キャスレーコンサルティング株式会社 代表取締役社長 砂川 和雅様
16:50	⑩「iBeacon 技術を利用した認知症徘徊捜索支援サービス」 George & Shaun LLC 代表 井上 憲様
17:05	⑪「責任あるサプライチェーン」（仮題） ビジネス・人権資料センター 日本代表 高橋 宗瑠様
17:20	閉会挨拶、及び今後の日程 経済人コー円卓会議日本委員会 事務局長 石田 寛
17:35	事務局連絡

ファックス番号：03-5728-6366 E-mail：info@crt-japan.jp
経済人コー円卓会議日本委員会 行

ニッポン CSR コンソーシアム
ステークホルダー・エンゲージメント・プログラム
＜参加他申込書＞

※申込期日：2015年6月8日（水）

申 込 内 容：該当するものにチェックをお付け下さい

- 参加費 A 無料
 参加費 B 30万円（報告書への記載を前提とする場合はこちらを選択）
該当するものをお選びください

報告書掲載エンドースメント

- 報告書掲載エンドースメントを希望する（30万円）
 報告書掲載エンドースメントを希望しない
 今後検討する

該当するものをお選びください

企業・団体名、部署名：

住 所：

電話/Fax：

参加予定者の氏名、役職名、連絡先：

1 _____ E-mail _____

2 _____ E-mail _____